



# Worth the Risks

「見て見ぬふりできない」

## 2人のロシア人新聞記者の企て 40本の政府批判記事

2人のロシア人ジャーナリストが命懸けの「内部告発」を行った。事が起こったのは、5月9日、ロシアの戦勝記念日。政府寄りとされるロシアの大手オンライン・ニュースメディア「Lenta.ru」に、自国のウクライナ侵攻を批判する記事やプーチン大統領を名指して非難する記事など、40本以上の告発記事が掲載されたのだ。これらの記事は公開とほぼ同時に削除されたが、この事実は一瞬にして世界中に知れ渡った。政府に真っ向から挑戦した2人のジャーナリストに、クーパーがインタビューを行った。



番組ホスト

**アンダーソン・クーバー**

1992年、教育向けニュース・チャンネル、Channel Oneでキャリアをスタート。'95年、28歳のとき、最年少特派員としてABCと契約。その後、同局の「ワールド・ニュース・ナウ」などの看板番組のアンカーを務める。2001年12月、CNNに入局。'05年、ピープル誌が選ぶ「セクシーで頭の切れる男性」の1人に選ばれる。2児の父。1967年生まれ、ニューヨーク育ち。

\*お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

## 66 検閲をかいぐり反戦記事を掲載



**Anderson Cooper** On Monday, as Russia celebrated a symbolic holiday to honor the Soviet victory over the Nazis—Victory Day, they call it; a day that Vladimir Putin also used to defend his war in Ukraine—two Russian journalists broke through their country’s harsh censorship laws: they managed to post antiwar articles to a pro-Kremlin news site where they worked. The articles were taken down almost immediately. They claimed Russian officials were lying to relatives of those killed on that sunken Russian warship and accused Vladimir Putin of launching one of the, quote, “bloodiest wars of the 21st century.”

[I’m] joined by those two reporters who did this, Aleksandra Mirosnikova and Yegor Polyakov.

(be) worth the risk: 《タイトル》その危険を冒す  
価値がある  
symbolic: 象徴的な  
honor: ①～をたたえる、祝う  
②光栄、名誉  
Nazis: ナチス  
Victory Day: (特にロシアと旧ソ連諸国の) 戦勝記念日  
defend: ～を弁護する、正当化する  
break through: ～を切り抜ける、打ち破る  
harsh: 厳しい、無情な、辛辣(しんらつ)な  
censorship law: 検閲法  
post A to B: AをBに投稿する、掲載する  
antiwar: 戦争反対の、反戦の  
pro-Kremlin: 親ロシア派の、ロシア政府寄りの  
take down: ～を取り下げる、削除する  
immediately: 直ちに、すぐに  
claim (that): ～であると主張する  
sunken: 沈没した  
warship: 軍艦  
accuse...of doing: ～したとして…を非難する  
launch: ～を開始する  
bloody: 血なまぐさい、残虐な

**アンダーソン・クーバー** 月曜日、ロシアではナチスにソ連が勝利したことをたたえる象徴的な祝日——「戦勝記念日」と呼ばれますが——が祝われ、ウラジーミル・プーチン大統領は、この日をロシア軍のウクライナ侵攻を正当化するためにも利用しました——そんな中、2人のロシア人ジャーナリストが、国の厳しい検閲法をかいぐって、自分たちが勤めるロシア政府寄りのニュースサイトに、反戦記事を掲載することに成功しました。その記事は、掲載とほぼ同時に削除されました。それらの記事は、沈没したロシアの軍艦で戦死した兵士の遺族にロシア政府の関係者たちがうそをついている、と主張し、「21世紀で最も残忍な戦争」の1つを始めたとして、ウラジーミル・プーチン大統領を非難するものでした。

ここで、その記事を投稿した2人の記者、アレクサンドラ・ミロシュニコワさんと、イゴール・ポリャコフさんをお迎えします。